

KIBOKO

木這子 Bulletin of the Tohoku University Library Vol.38, No.2

EUパネル展「EU27カ国 食べ歩きヨーロッパ」を開催しました

東北大学附属図書館は「EU情報センター」としてEU公式資料等の保存・提供および広報活動を行っています。そのEUフレンドシップウィークのイベントの一つとして、平成25年5月1日(水)～31日(金)に附属図書館本館1Fラウンジにおいてパネル展「EU27カ国 食べ歩きヨーロッパ」を開催しました。日本でもおなじみの料理やスイーツ、伝統料理・B級グルメなどEU27カ国のバラエティ豊かな食文化を紹介し、「おいしそうな展示で面白かった」「ヨーロッパに旅行して実際に食べてみたくなった」といった声も多く寄せられました。図書館のキャラクター「はぎのすげ」も、ツイッターで27カ国の料理の見どころを沢山つぶやいてくれました。

また、このパネル展に関するクイズに正解した方にEUグッズやEU加盟国のお菓子をプレゼントする企画や、料理を食べてみたい国の人気投票なども行い、学内外からたくさんの方に参加していただきました。

さらに、コラボ企画として、川内北キャンパス「bush clover Café」において、その食材の一部を使ったメニューが期間限定で提供されました。



欧州の旗



展示とクイズに答える学生



Contents

TOPICS

- 多言語でご案内「留学生コンシェルジュ」開始！ — 2 —
～ Concierge service for international student ～
- 「震災ライブラリーオンライン版」を公開しました
- 学生選書企画「Student Book Harvest 2013」 — 3 —

EVENTS

- 新入生向け図書館オリエンテーション — 5 —
本館、分館・図書室
- 講習会「情報探索のススメ」に600名超の参加者！
- 高校生・中学生が見学にきました！

TOPICS

- NHK「BS歴史館」の和算資料取材に協力

SERIES

- 「ゆかりの人々」 — 7 —
理学研究科 二間瀬敏史 教授
- <つながり>の一冊
「僕はいかにして指揮者になったのか」

Information

- 附属図書館オープンキャンパスを開催します！ — 8 —
- 附属図書館本館1号館改修工事を実施します

Editor's notes

多言語でご案内「留学生コンシェルジュ」開始！ ～ Concierge service for international students ～

This year, since May 1st we have restarted the Concierge service for international students in multiple languages. The service is available on weekdays from 13:00 to 17:00 at the Reference desk. Students who respectively speak Japanese, English, Chinese, Korean, Indonesian, Russian would be glad to give an advice about using the Library and getting the academic info and others, so please do not hesitate to ask them. The working language varies on the day of the week.



▶ 相談を受ける留学生コンシェルジュ

For example:

- ・ How to use the printer?
- ・ How many books can be borrowed at one time?
- ・ How to search Japanese literatures? etc.

留学生による図書館利用・学習相談サービス「留学生コンシェルジュ」を開始しました。
平日13:00～17:00に本館レファレンスデスクで、日本語・英語・中国語・韓国語・ロシア語等を話せる留学生が皆様の相談に応じます。
プリンタの使い方、本の探し方など、気軽にお尋ねください！

「震災ライブラリーオンライン版」を公開しました



▶ 貞観地震についての記録（「三代実録」より）

附属図書館では、東日本大震災の記録を活用し後世に引き継ぐため、本館内に関連資料コーナー「震災ライブラリー」を設置しているところですが、より多くの方に資料をご覧頂けるよう、平成25年3月に「震災ライブラリーオンライン版」を公開しました。

このデータベースでは、附属図書館および東北大学災害科学国際研究所の震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」で収集した東日本大震災関連イベントのチラシや、市町村で出された広報資料など、約900点の資料がインターネットで閲覧できます。

また、西暦869年（貞観11年）の津波被害の記述がある「三代実録」や、明治29年に発生した明治三陸地震津波の報告書「宮城県海嘯誌」など、図書館で所蔵している過去の地震・津波の記録も何点が公開しています。

震災からすでに2年が経過した現在、復興に向け大学が期待されている役割は大きいものがあります。震災ライブラリーの資料を皆さんの学習・研究に活用し、その成果を復興に役立ててください。

「震災ライブラリーオンライン版」のURL

http://dbr.library.tohoku.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000002shinsai



学生選書企画 「Student Book Harvest 2013」

附属図書館本館では、今年も学生選書企画「Student Book Harvest」を開催します。「Student Book Harvest」とは、図書館に置いて欲しい学習用の図書を学生が直接選ぶという企画です。開催時期は、今年の秋頃を予定しております。参加方法など詳細は決まり次第館内に掲示しますので、そちらをご覧ください。

昨年度は、学生さんが書店の書棚から本を直接選ぶ「本屋へGo！ひとりでじっくり」に、延べ24名が参加し、サークルや研究室の仲間と一緒に本を選ぶ「テーマでGo！仲間と一緒に」へは、6団体の参加がありました。

この企画で学生さんが選び図書館で購入した本は、附属図書館内(レファレンスデスク横)に展示されています。貸出もできますので、是非ご利用下さい。



▶ 学生選書企画展示コーナー

■ 「本屋へGo! ひとりでじっくり」に参加した学生さんのコメント・感想

- 幅広い分野からたくさんの本を選べた。興味深い本がたくさん見つかった。
- なかなか本屋さんで大量に興味のある本を選ぶことはできないので、とても貴重な体験でしたし、とても楽しい企画でした。また、他の人が選んだ本も興味深いですね。来年も参加したいです。
- 金額の制約があったことから、高い値段だけど役立つような本を見つけても、それを選ぶと他の本が選べなくなってしまうので選べず、なるべく安い本にしようとしてしまった。
- 4年間の大学生活で見つけた「自分らしさ」を詰め込みました。
- できれば年2回の実施を希望します。
- 夢中になってしまい、3時間も選定してしまいました。トルストイの日露戦争についての本が一番欲しかった本です。トルストイがいかに素晴らしい人物であるかがわかります。是非一読あれ。
- ゼミに関する本や卒論に役立つ本を中心に選定しました。本屋で普段は買えない量の本を図書館に入れてもらえるおもしろい企画でした。勉強に活かしていきたいです！



▶ 書店での選書の様子



▶ 選書された本の一部



▶ 選定図書には、ロゴを貼付♪

■ 「テーマでGo! 仲間と一緒に」に参加した学生さんの感想

- このような機会をくださった事に大変感謝しております。
- 煩雑な押印が無くなって参加しやすくなった。3年間参加しました。
- 視野が広がるよう、様々な分野からの本で読みやすいものを選びました。
- いろんな人が読めるような本を選ぼうとすると、どうしても薄い本になりがちだった。



▶ アカデミックな本棚!

～ 参加6団体による珠玉の選定図書をご紹介します♪ ～

■ 澁谷ゼミが選ぶマーケティング参考書

(経済学研究科澁谷覚ゼミ)

コンセプト 図書館に、よりマーケティング関連の本を増やす

- ・ブルー・オーシャン戦略
- ・なぜ、人は動かされるのか
- ・良い戦略、悪い戦略
- ・ビッグデータの衝撃
- ・ザ・マーケティング実践編
- ・コトラーのマーケティング3.0
- ・伝説のコピーライティング実践バイブル
- ・60分間・企業ダントツ化プロジェクト
- ・マーケティング戦略の未来
- ・図解でわかるパッケージデザインマーケティング：
- ・マーケティングビッグ・ピクチャー
- ・観光のマーケティング・マネジメント
- ・グレートフル・テッドにマーケティングを学ぶ
- ・シュガーマンのマーケティング30の法則
- ・ソーシャルエコノミー
- ・Online consumer
- ・マーケティング戦略
- ・ミッションの経営学
- ・イノベーションのDNA



■ 宇宙開発に親しむための20冊

(日本宇宙少年団-宙ゼミ)

コンセプト 宇宙開発に詳しい人から詳しくない人まで読めるように、手広く選びました。宇宙や科学に興味をもってくださる方がもっと増えたらいいと思います。

- ・日本の宇宙探検
- ・ロケットボーイズ 上下
- ・たとえば銀河がどら焼きだったら
- ・宇宙ビジネス
- ・現代萌衛星図鑑
- ・冥王星を殺したのは私です
- ・宇宙女子
- ・スペースガールズ少女宇宙開発全集
- ・探査機はやぶささん
- ・宇宙旅行ハンドブック
- ・東京大学マグナム望遠鏡物語
- ・スプートニク
- ・星空案内人になろう！
- ・宇宙に恋する10のレッスン
- ・The Mars project
- ・とてつもない宇宙
- ・Rockets
- ・The flying machine book

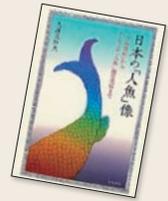


■ 「幻想と怪奇」に親しむ

(幻想文学研究会)

コンセプト 幻想文学ファンにとっては伝説ともいえる雑誌「幻想と怪奇」が創刊されてから40年がたちます。今回は、「幻想と怪奇」の血脈を受け継ぐ本を私たちに選んでみました。

- ・妖怪手品の時代
- ・現代台湾鬼譚
- ・本の透視図
- ・人体解剖図
- ・日本の「人魚」像
- ・ジョン・マーティン画集
- ・モンズ・デジデリオ画集
- ・ゴシック短編小説集
- ・ボウエン幻想短篇集
- ・フングス・マギクス
- ・夢想の深遠：夢野久作論
- ・亡霊のイギリス文学
- ・亡霊のアメリカ文学
- ・アートで見る医学の歴史
- ・奇想の陳列部屋
- ・ベクシンスキ作品集 全3巻
- ・水の女：涙き水より



■ 鉄道教養を深めるための必読書20冊

(東北大学鉄道研究会)

コンセプト 鉄道研究に役立つ本を選定しました。

- ・欧米鉄道脱線事故
- ・シャシー・ボディメーカー別昭和のバス名車輦
- ・門鉄デフ物語
- ・日本のバス年代記
- ・究極のナローゲージ鉄道
- ・走行音で広がる鉄の世界
- ・秘蔵鉄道写真に見る戦後史 上下
- ・島秀雄の世界旅行：1936-1937
- ・内燃自動車発達史 上下
- ・私鉄買収国電
- ・ユニークなエンジンの系譜
- ・エンジンのロマン
- ・全国版優等列車編成順序表
- ・回想の旅客車：特ロ・ハネ・こだまの時代 上下



■ 現代社会を読み解くための温故知新の16冊

(西洋政治思想史ゼミ)

コンセプト 現代社会を歴史的文脈から理解し、現在の政治問題解釈の足掛かりとなる知識を得られる本を集めました。

- ・社会・文化
- ・神を哲学した中世
- ・政治
- ・立憲主義の復権と憲法理論
- ・経済
- ・ウィトゲンシュタインの誤診
- ・ヨーロッパ紋章百科
- ・現代地方自治の法的基層
- ・ポスト全体主義時代の民主主義
- ・統合と国家
- ・現代企業社会における個人の自律性
- ・終焉の時代に生きる
- ・熟議が壊れるとき
- ・ロールズ正義論の行方
- ・ロールズ正義論再説
- ・自然法論



■ 考古学者の卵が選ぶ過去の読み解き方の本 Part.3

(考古科学技術研究会)

コンセプト 様々な視点から、過去を読み解く材料となる本を選びました。

- ・コロポックルとはだれか
- ・みどりの風につつまれて
- ・消えた蝦夷たちの謎
- ・継体天皇の謎
- ・鬼瓦：ルーツを尋ねて
- ・大国主命
- ・大国主命の出雲平定
- ・内モンゴル民話集
- ・古代造瓦史
- ・教育者アラン
- ・古代の地形から『記紀』の謎を解く
- ・レラ・チセへの道
- ・アコロ イタク = AKOR ITAK : アイヌ語テキスト
- ・神話の世界をめぐる古事記・日本書紀探訪ガイド
- ・エロスの現象学
- ・哲学講義
- ・芸術論集
- ・遺跡と人間
- ・九州古代遺跡ガイド
- ・福岡



EVENTS

新入生向け図書館オリエンテーション

本館

本館では、4月4日(木)～9日(火)の土日を除く4日間、新入生向けの図書館オリエンテーションとして、図書館の概要や利用方法・館内ツアーを行い、昨年を上回る771名の参加がありました。同時に、本館で所蔵している資料の紹介として、江戸時代の書物のコレクションである狩野文庫から、高校の教科書に出てくる『解体新書』などの資料を中心にミニ展示を行い、『姫國山海録』に出てくる妖怪のぬいぐるみも展示しました。

約400万冊の蔵書を持つ東北大学の図書館の概要や、グループでディスカッションできるエリア、レポート作成などに使えるパソコン75台を備えたパソコンコーナーなど、大学図書館ならではの様々な機能やサービスを知ってもらう機会となり、これからの大学生活に大いに役立てていただくことを期待しています。



▶館内ツアーの様子



▶ミニ展示(狩野文庫の「解体新書」「奥の細道」など)

分館・図書室

医学分館

4月8日(月)、4月12日(金)、4月19日(金)の3日間、大学院入学者を対象に医学分館の利用説明及び検索講習会を実施しました。

館内案内をはじめとし、MyLibraryの紹介、医学系で必須のデータベース「PubMed」と「医中誌Web」の検索実習を行いました。

参加者からは「PubMedの詳細な検索方法は知らなかった」などの声がありました。



金属材料研究所図書室

5月15日(水)に金研講堂で図書室と教員の共催によるオリエンテーションを実施しました。図書職員から図書室の利用案内を、教員からは「ICDD Cards」「Alloy Phase Diagrams」「International Tables for Crystallography」「Web of Science」「Scopus」「GeNii」の各種データベースの使い方を説明しました。今年度は学生・院生・教職員46名が参加し、「これからの利用に役立てていきます。」などの声がありました。



▶オリエンテーションの様子

EVENTS

講習会「情報探索のススメ」に600名超の参加者！

本館では、4月15日(月)～26日(金)の2週間、大学でのレポートや論文を書く上での基本となる情報探索についての講習会を開催しました。

新入生向けの学術情報の概要や図書・雑誌論文・新聞の探し方、院生向けの日本語・外国語論文の探し方の各種講習会を開催し、のべ604名の参加がありました。アンケートでは、データベースの使い方などを学べて参考になった、初めて知ることがいろいろあり有益だったという感想などが寄せられ、また、1年生だけではなく3・4年生や職員などの参加もありました。



▶講習会の様子

EVENTS

高校生・中学生が見学にきました！



▶中学生の見学の様子

4月24日(水)に福島県立磐城高校の40名がJSTのスーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業の一環として、また、5月9日(木)には大崎市立古川南中学校の4名が仙台自主研修として本館の見学に訪れました。

いつも利用している図書館との違いを知り、また、江戸時代の書物を集めたコレクションである狩野文庫では、「解体新書」や「富士三十六景」など教科書で習ったものを興味深く見ていました。

TOPICS

NHK「BS 歴史館」の和算資料取材に協力



▶関孝和の写本の撮影取材

NHKの歴史エンターテインメント番組「BS歴史館」の番組ロケで、和算資料の撮影取材に協力しました。

今回の取材番組は「江戸のスーパー日本人(1) 関孝和：世界水準の“和算”を創り出した男」で、附属図書館本館が所蔵する関孝和の大量の著作を撮影することとなったのです。関孝和の著作は約30点といわれ、本館の和算資料コレクションには、その著作を書き写した写本が300冊以上も残されています。関の著作の写本を、これほど大量に有する図書館はほかにないことから、今回撮影の申し出となりました。

撮影のために並べられた写本群は壮観で、このような機会からまた、江戸の和算や和算書が注目されることを願っています。

SERIES

「ゆかりの人々」～ 理学研究科 二間瀬敏史 教授

シリーズ「ゆかりの人々」は、「東北大ゆかりコレクション」にちなみ、本学の卒業生、教職員など、東北大学にゆかりのある方々とその著書について、ご本人に様々なエピソードを含めて、ご紹介いただくコーナーです。シリーズ5回目は、本学理学研究科の二間瀬敏史教授です。宇宙に関する様々な著書を著し、本学にも多数所蔵しております。今回は、その中から二間瀬教授にピックアップしていただいた著書をご紹介します。



私の専門は一般相対性理論と宇宙論です。ここ10年ほどは重力レンズと呼ばれる現象の研究ですばる望遠鏡を使って観測にも手を出したりしています。この分野はブラックホール、暗黒物質、暗黒エネルギーなど物理学系はもとよりそうでない人たちの関心も高いようでよく一般向けの解説書を頼まれ、過去何冊か書いています。



どうして時間は「流れる」のか (PHP新書) (PHP研究所, 2012年)

時間が過去から未来に流れるのは当たり前と思うかもしれませんが、物理学ではそう単純ではありません。実は一見関係のないようにみえる宇宙や重力と深い関係にあるのです。この本は普通の時間論の本とは違いその辺の事情

を詳しく書いています。

(本館2F学閲 MC41/085)



宇宙には何があるのか (静山社文庫) (静山社, 2011年)

宇宙論の観測は20世紀末から急速に進展し、星や私たちの体を作っている物質が宇宙の中で数%を占めるに過ぎないこと、そして残りの95%が未知の物質とエネルギーで満ちていることが分かってきました。この本は最近の観測で分かった「分からないこと」を詳しく説明しています。

を詳しく説明しています。

(本館メインフロア東北大ゆかりコレクション MB31/0161)



日本人と宇宙 (朝日新書) (朝日新聞出版, 2013年)

日本が西洋文明を受け入れたのはたった150年ほど前のことです。にもかかわらず、日本は自然科学の多くの分野で世界1、2を争うまでになっています。私の専門は宇宙なので宇宙について古来日本人はどのように捕らえ、明治以降、どのように天文学を発展させてきたのか、そして現状は未来はというお話をしてみました。

(本館メインフロア東北大ゆかりコレクション MB27/032)

SERIES

〈つながり〉の一冊『僕はいかにして指揮者になったのか』

「私はいかにしてこの本と出会ったのか」

(農学部4年 熊谷 優希)

シリーズ〈つながり〉の一冊は、学生の皆さんに、感銘を受けた本や、他の学生さんにお薦めしたい本、ご自身の研究上影響を受けた本などを紹介しながら、つながっていくリレーエッセイです。



僕はいかにして指揮者になったのか (新潮文庫) / 佐渡裕著、新潮社, 2010.9

欲しい音のためなら素っ裸になってもいいー

この一言で筆者の音楽に対する情熱が伝わってくるだろう。筆者の佐渡裕さんを私が知ったのは、恥ずかしながら彼が活躍しだしてしばらくたってからだった。小さい頃からピアノを習っていた私は、クラシックやオペラ、オーケストラには興味がありコンサートにもよく行ったが、指揮者については無知に等しかった。しかしある時テレビで佐渡さんの指揮を見て、初めて演奏でなく指揮者に注目してしまった。佐渡さんは体全体で音楽を感じ、表現し、まるで体が1つの楽器のようにオーケストラと溶け込んでいた。面白い指揮をする人だなあと感じ、この本を読んでみようと思った。読んでみると、指揮者ってそれでいいの!?!と感じてしまうくらい佐渡さんは変わった経歴をもつ指揮者だった。しかし実績も何もないところからオーディションを受け、世界のレナード・バーンスタインや小澤征爾に認められるまでになった。それはもちろん佐渡さん自身の才能もあるのだろうが、佐渡さんの人柄や音楽に対する姿勢、またそれに惹きつけられた人たちの支えによるところが大きいのではないのかと思う。文章は今から20年ほど前の佐渡さんが書いたもので、多少拙いところもあるが、自信と力強さであふれている。この本を読むと音楽に携わっている私は、いつも背筋がしゃんとする。音楽に興味がある人でもない人でも、一度この本を手にとってほしい。読み終わった後、コンサートに行きたくなることは間違いのないだろう。

Information

附属図書館オープンキャンパスを開催します！

平成25年7月30日、31日の2日間、東北大学オープンキャンパスを開催します。例年同様、図書館では資料等の展示や、館内のオリエンテーリングなど、高校生に大学図書館を知っていただくためのイベントを実施します。当日は混雑が予想されますが、来場される方が気持ちよく館内見学ができるよう、ご協力をお願いいたします。

附属図書館本館1号館の改修工事を実施します。

附属図書館では、川内南キャンパスの本館1号館の全面改修工事を、下記の通り平成25年8月から実施する予定です。工事期間中、1号館は閉館となりますが、築40年目の全面大改修ですので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

工事期間 平成25年8月中旬から平成25年度末まで（予定）

工事内容 築40年で老朽化した1号館を、将来の使用に耐えるよう全面リニューアルします。

- ① 全館の空調改善：省資源型空調設備と省エネ型サッシへの更新により、快適な学習環境を実現します。
- ② 利用者エリアの充実：ラーニング・コモンスの拡充（南側2階に）、パソコンの増設、カフェの新設により、長時間滞在機能を強化します。
- ③ 更なる開館時間の延長対応：自由閲覧室への無人開館システム対応により、将来的な開館時間の延長に備えます。
- ④ 蔵書の収容能力を増強：地下書庫全体に電動集密書架を導入します。

閉館か所 1号館は全館閉館（自由閲覧室は除く）

開館か所 2号館（現在1号館2階学生閲覧室にある図書を移動）

代替措置 閉館により資料が利用不可となる件に関して、次のような代替措置をとります。

- ① 貸出冊数の制限をなしとして、卒論等で必要になるとと思われる図書は、最大限貸出を行います。
- ② 閉館後に必要となった図書、雑誌論文に関しては、他大学図書館からの文献複写、現物貸借サービスにより取り寄せます。これにかかる費用は、無償とします（図書館の経費で実施）。

説明会 今回の改修工事に関する利用者向け説明会を、川内地区で開催する予定です。詳細については、あらためて連絡いたします。



▶本館1号館の改修工事内容の図解

Editor's notes

新学期から一段落、そぞろ歩きしたくなる頃でしょうか。いつもの学び場でも回り道してみるとか、別地区を覗いてみる楽しみもあります。本学の図書館（片平では研究所図書室）はどのキャンパスにもあります。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄り、ご利用下さい。皆様のお気に入りの場所の一つとなることを願います。ところで、本館2号館内に一時移転していた「史料館」が片平に戻り、7月初旬の開館に向けて準備中です。耐震工事済みの建物は、大正末から1973年の川内地区移転まで図書館本館だったもので、一見の価値あります。7月には、オープンキャンパスがあります。その様子は、次号にてお届けする予定です。

（木這子編集委員 近藤 真澄美）